

柿ドロボウのコージ

<改編版¹>

コージの大好きなおばあちゃんが病気になって、もう半年になろうとしている。お父さんもお母さんもいないコージを、これまでおばあちゃんはとてもかわいがってくれた。おばあちゃんもおじいちゃんが亡くなってからはひとりぼっちだった。そんなひとりぼっち同士の二人は、とても仲よく暮らしていた。

けれども、そのおばあちゃんが病気になった。最初は「腰が痛い」といって辛そうにしていたが、そのうちに立てなくなり、やがて寝たきりになった。おばあちゃんの具合はよくなるどころか、日に日に悪くなっていき、このごろは「来月までは生きられないねえ、きっと」などと言うようになった。「もしかすると本当にそうなのかな」とコージも思うようになった。

おばあちゃんは柿が好きだった。でも、いまのコージの家には柿を買うお金が

¹ 本ケースは、「『道徳教育に活用するケースメソッド研究会』プロジェクトケースブック所収の「柿ドロボウのコージ」（原著作者：鎌塚優子・中村美智太郎・竹内伸一）をもとに、原著作者の承諾を得て、道徳小学校の加筆太郎・修正花子が改編して作成した。（改編版作成：2018年5月） ©20××，鎌塚優子・中村美智太郎・竹内伸一（加筆太郎・修正花子）。【不許複製】

本改編ケースを、「例：富士市一斉研究会公開授業の教材」として使用することについて、原著作者ならびに「道徳教育に活用するケースメソッド研究会」プロジェクトの許可を得ている。